

事業名	観光推進事業
-----	--------

総事業費	500 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光客誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		・種子島を紹介（PR）してもらう ・PRイベント来場者に種子島を認知してもらう
事業の実績 と 成果	取組内容	新型コロナウイルスの影響により種子島をPRするイベント等には参加できなかったが、SNSを活用した西之表市のPRを行った。
	成果	Facebookの情報発信回数を増加させ、いいね獲得件数は微増となった。若者のFacebook離れによるInstagram利用移行が進んでいる。高速船による島発以外の入込客数及び市内宿泊者数については、新型コロナウイルスの影響から昨年の半分ほどの数値となっている。

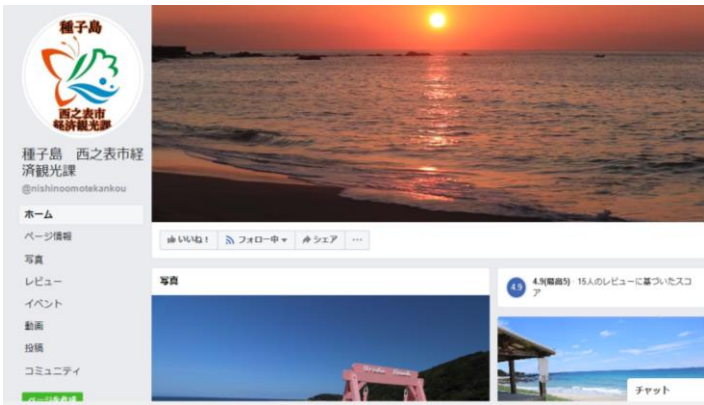
③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	SNSを活用した情報発信回数は増加しており、いいね獲得数も微増となっている。2019年1月から開始しているInstagramと連動させたことで効果的に情報発信することができ、フォロワー数の増加に繋がった。また、CIR（国際交流員）を活用し、外国人観光客向けの情報発信を徐々にではあるが充実を図った。種子島への入込数は、これまでの評価指標を見直し、コロナ禍での評価指標であることを勘案する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	新型コロナウイルスの影響により、例年実施されていた島外のイベント等が中止となり、直接的な誘客活動が制限されることが多かった。 一方で、令和2年6月に全日本ヨガ連盟による「ヨガの聖地」に本市が全国で初めて認定され、ウェルネスやワーケーション等の新たな観光との結びつきによる可能性が出ている。また、今後もSNS等を通じたリアルタイムでの情報発信等の継続的な取り組みにより、観光地としての種子島、西之表市をアピールすることが必要である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	アフターコロナに向けて種子島のPRを行う
-----------	----------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	経済観光課Facebook

事業名	大型客船寄港受入協議会支援事業
-----	-----------------

総事業費	0 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光客誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図			種子島の文化・自然・歴史・伝統・産業等を知り、興味を持ってもらう
事業の実績 と 成果	取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため寄港がなかった。	
	成 果	なし	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	岸壁での特産品販売は実施しているものの、南種子町でお土産を購入すること多いことから、いかに商店街への立ち寄らせるかが課題である。それに伴い、レンタサイクルの導入や商店街へのピストンサービスも検討する必要がある。また、曜日によるが、飲食店が休みの場合もあり、商工会等と連携を取り、寄港する際のムード作りや周知を図る必要がある。また、新型コロナウイルス感染症拡大のため、今後の状況変化に注視が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	新型コロナウイルスの影響で、クルーズ船寄港がなかった。今後、収束の状況を踏まえ、対応する必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	受入体制の充実を図り、乗客等の満足度を高めていく。また、ふるさと納税も併せてPRを展開する。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	水着バス運営補助事業
-----	------------

総事業費	921 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	種子島北部の魅力を知ってもらい、観光客等の滞在時間を増やす。	
事業の実績 と 成果	取組内容	浦田海水浴場行きの水着バスを運行し、二次交通を補完する。
	成 果	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から浦田海水浴場の利用を一部制限していたこともあり利用者は減となっているが、一定数の利用があることから運行補助から運行委託にし継続して実施していきたい。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	水着バスは、市街地から浦田海水浴場までの往復区間のみの運行であり、ほかの場所でも乗降車できれば更に利用者は増える可能性はある。ただし、行政からの補助が無い限りは交通会社のみでの自社運行は厳しいため、変わる手段（自転車等）の検討を進めていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	公共交通の脆弱性を補完し、本市観光の中心である浦田海水浴場・北部観光の振興に寄与するものである。 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、海水浴場の利用者が減少し、バスの利用も同様に減少となった。 北部観光による2次交通の面から交通手段の確保は重要であるが、費用対コストの面で、今後運用方法の検討する必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	公共交通の脆弱性を補完し、本市観光の中心である浦田海水浴場・北部観光の振興に寄与するものである。 浦田海水浴場の利用者については、前年度と比べると、新型コロナウイルスの影響により利用人数は激減した。今後コロナウイルスの影響で海水浴場の利用者自体が減少する見込みだが、北部観光地域の施設の整備を今後も進めていくことから、地元校区とも連携した取り組みや情報発信等により利用者を増加させ、民間の交通機関が参入できる環境を推進していく。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	サーフアイランド種子島観光PR事業
-----	-------------------

総事業費	0千円
------	-----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		・種子島を知ってもらう。 ・大会に参加してもらう。
事業の実績 と 成果	取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。
	成 果	1市2町の取りまとめ役である中種子町企画課が誘致活動を続けた成果があり、令和3年5月にJPSAの大会を南種子町で開催することが決定した。しかも、民間企業のスポンサーがついたことで、行政の負担金支出がなくなった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	今後の更なるサーフアイランド種子島のPRや、島を盛り上げていく企画や大会運営に活かす必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	令和2年度のJPSA（日本プロサーフィン連盟）によるサーフィン大会については、JPBA（プロボディボード連盟）と連携した大会を検討したが、新型コロナウイルスの影響により、全て中止となった。 JPSAについては、新たな民間スポンサーとの契約もあり、今後は、地元行政の負担金等による運営から、民間主体の運営へと転換が図られる予定である。新型コロナウイルスの推移も踏まえながら、引き続き関係機関との連携を図りたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	中種子町が事務局であるサーフアイランド種子島PR協議会が中心となって取り組んでおり、連携を取りながら実施する。また、オリンピック後の事後交流については、本市のポルトガルとのつながりの利点を活かしながら、進めていく。
-----------	---

【参考資料】	
※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	種子島滞在型観光促進事業
-----	--------------

総事業費	4,664 千円
------	---------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光客誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		もう一泊したいと旅行者に思わせるような島での食や体験といった地域の魅力の旅行商品化や観光サービスの担い手育成等を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	2つの事業（外国人観光客滞在促進プロモーション事業、種子島滞在プラン旅行商品造成・販売促進事業）を実施した。
	成 果	・外国人観光客滞在促進プロモーション事業：台湾で人気のタレントを招請し、SNS等でPRを図るとともに、現地での旅行博で現地スタッフによるPRを行った。 ・種子島滞在プラン旅行商品造成・販売促進事業：種子島観光協会のHPを改修するとともに、体験と宿泊、乗船券等をセットにした旅行商品を造成し販売した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	コロナの影響で航空便が欠航となり、企画乗船券が利用しづらいものとなってしまったので、来年度は造成販売と誘客の仕方を再検討する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	滞在型観光を促進するため、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した1市2町の負担金により、種子島観光協会を主体とし、観光面で魅力創出に繋がる2つの事業を展開した。1つ目の外国人観光客滞在促進プロモーション事業については、コロナ禍にあって、台湾現地スタッフ対応での観光PRをおこなった。また、台湾で認知度（SNSフォロアー）の高い日本人インフルエンサーによる情報発信を行った。 2つ目の、種子島滞在プラン旅行商品造成・販売事業については、体験と組み合わせた旅行商品の実績が新型コロナウイルスの影響で、低調に終わったが、種子島観光協会ホームページ改修事業において、観光客等の利用者視点で見直しを図られ、利便性の向上に繋がった。それぞれの取り組みの成果を検証しつつ、より効果的な事業へと繋げたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	昨年度、実施した2事業を見直し、継続事業として3事業を実施する。 種子島滞在プラン旅行商品造成・販売促進事業では、昨年度に造成・販売した企画乗船券に加え、今年度は企画航空券の造成・販売にも取り組むが、旅行者が利用し易く魅力的なプランをいかに作り上げられるかがポイントである。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明